

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	首都キガリの人々の雇用および収入創出の機会が増大する
(2) 事業内容	<p>(1)工業用電動ミシンを投入する。</p> <p>(2)高度な日本の洋裁技術習得訓練を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業用電動ミシンによる洋裁技術訓練 ・日本全国から寄贈された正絹の着物を訓練教材として使用。 ・日本人洋裁専門家および現地洋裁専門家協同による訓練 <p>(3)現地洋裁専門家への TOT: Training of Trainer 現地洋裁専門家の着実な技術向上を主眼に、日本人洋裁専門家による TOT を実施。</p> <p>(4)ミシンメンテナンス講習</p> <p>(5)適切なモニタリング・評価の実施</p>
(3) 達成された効果	<p>(1)工業用電動ミシンを投入する。 工業用電動ミシン 13 台をシンガポールより空輸し、投入。</p> <p>(2)高度な日本の洋裁技術習得訓練を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業用電動ミシンによる洋裁技術訓練 ・平日4日、午前 26 名、午後 26 名、各4時間のコースに分かれ、合計 52 名の直接裨益者に訓練を実施。訓練生 1 名につき 1 ヶ月間平均 64 時間(1 日 4 時間×週 4 日×4 週間)の実習により、工業用電動ミシンに触れたこともなかった訓練生たちが、訓練 3 ヶ月を経てミシンを自在に扱うまでの成長している。 ・日本全国から寄贈された正絹の着物を訓練教材として使用。扱いの難しい繊細な正絹の生地は、裁断、縫製、アイロンに至るまで、細かい配慮が要求されるため、高度な技術力の習得ができる。現在年間カリキュラム内、着物地による 9 アイテムの洋服制作実習のうち、「浴衣ブラウス」、「巻きスカート」、「着物地ブラウス」の3アイテムの実習が終了。 ・日本人現地事業担当兼洋裁専門家および現地洋裁専門家協同により、英語および現地語であるキニアルワンダ語による訓練を実施。日本人 1 名およびルワンダ人 2 名の合計 3 名体制によるハンズ・オン指導により、訓練生は訓練内容を完全に理解し、着実な洋裁技術の習得に繋がっている。 <p>(3)現地洋裁専門家への TOT: Training of Trainer 訓練生への洋裁指導開始前、1 ヶ月間日本人洋裁専門家による現地洋裁専門家のトレーニングを実施。訓練生訓練開始後は、1 週間のうち、平日週4日は、現地洋裁専門家が日本人洋裁専門家の補佐として、訓練に従事。週1日は、日本人洋裁専門家による洋裁理論面および技術面の強化訓練を実施。現地洋裁専門家への TOT として、1 ヶ月平均 160 時間(1 日 8 時間×週 5 日×4 週間)の実習実施により、洋裁技術レベルが着実に伸びている。</p> <p>(4)ミシンメンテナンス講習 日本人ミシン保守専門家を短期派遣し、ミシン組み立ておよび</p>

	<p>資機材メンテナンス講習を実施。マシン不具合に対応できるようになった。</p> <p>(5)適切なモニタリング・評価の実施 訓練開始後2ヶ月ごとにカウンターパートである職業開発庁およびパートナーのキガリ市を訪問し、ミーティングを開催。 職業開発庁長官、キガリ市副市長に進捗状況を直接報告。現時点の進捗状況に、高い評価を受けている。その際、適切なモニタリング、今後の持続性のための協力体制、方向性についても話し合いを実施。この様子は、ルワンダの職業開発庁ホームページでも随時紹介されており、ルワンダ国内における広報強化にも繋がっている。</p>
(4) 今後の見通し	<p>まもなく日本より洋裁指導責任者の渡航が予定されており、洋裁指導責任者による強化授業で、訓練生の技術補完およびさらなる技術向上訓練を実施予定。上記事業内容(1)～(5)を継続、深化させると同時に、後半は、以下の事業(6)～(9)も加えることで、事業の質を重層的に高めていく。</p> <p>(6)ビジネス強化ワークショップ 洋裁技術習得に加え、実際の収入、雇用創出面強化のために、カウンターパートである職業開発庁協力によるマーケティング研修を実施予定。</p> <p>(7)made in Rwanda 製品開発実習 着物生地による実習終了後、ルワンダの伝統的な生地を使用した実習を行い、made in Rwanda 製品の開発、製作実習を行う。</p> <p>(8)三カ国語併記洋裁テキストブックの製作 訓練生の技術維持、向上を目的に、キニアルワンダ語、英語、日本語によるテキストブックを製作する。</p> <p>(9) 修了式および製作披露発表会 習得技術および made in Rwanda 製品披露の場として、修了式を兼ねたミニファッションショー形式で製作披露発表会を行う。修了生には洋裁技術習得修了証を授与予定。また政府関係者、関係機関代表も招待し、その成果を直接確認・共有することで今後の更なる持続的な活動に繋げていく。</p>